

企救丘校区の元気プラン

住民発！

企救丘校区 小地域福祉活動第三次計画



2023年~2028年

ごあいさつ

企救丘校区では、住民みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指して、地域住民や公私の社会福祉関係者が協力して地域福祉活動を進めてきました。特に、北九州市で平成5年に開始されたふれあいネットワーク活動にも平成10年より取り組み、「自分たちの地域の福祉課題は、自分たちが解決していく」という目的の下、見守り・助け合い・話し合いの活動を中心に小地域福祉活動を進めてきました。

全国的な少子高齢社会の進展の中で、高齢者のみの世帯、ひとり親家庭が増加し、地域におけるつながりや支え合いが一層求められる中、課題を抱え、孤立した生活を送る世帯が増えています。北九州市においても少子高齢化や、障害のある人や認知症高齢者の増加、孤立死や8050問題など地域の生活課題は一層の多様化を見せており、その中で行政と民間団体との役割分担と協働の指針である「北九州市の地域福祉2021-2025」（北九州市地域福祉計画）が行政により策定され、また行政計画と協働しながら北九州市社会福祉協議会が中心となって地域社会の福祉課題を解決するため「地域共生！きたきゅうプラン」

（北九州市地域福祉活動第六次計画2021～2025）が策定されました。

企救丘校区においても新しい課題が生まれてきており、今後地域福祉活動を進めていくためには、地域福祉を担う各種団体がもう一度地域の福祉課題を共有し、課題解決に向けて話し合い、協働を生み出していく協議の場が求められています。そこで、北九州市の地域福祉計画及び地域福祉活動計画と整合性を持ちながら、住民主導により地域福祉活動を進めるため、新しい小地域福祉活動計画を策定しました。

この計画の策定にあたりご尽力いただきました本計画策定委員会委員並びにご意見をお寄せいただきました関係者の皆様に、感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

企救丘校区社会福祉協議会会長
岡本 広治

もくじ

ごあいさつ …… 1 p

第1章 計画策定にあたって …… 2 p

- 1 計画の性格
- 2 計画の期間
- 3 計画の策定経過

第2章 企救丘校区の現状と課題… 3 p

- 1 地域社会の動向
- 2 地域の福祉課題

第3章 計画体系 …… 4 p～6 P

- 1 基本理念
- 2 基本目標
- 3 実施項目（体系図）
- 4 重点実施項目

第4章 計画の推進 …… 7 p

- 1 地域への計画の承認と周知
- 2 計画を推進するための体制
- 3 第4次計画の策定

参考資料 …… 7 p～9 P

- 1 策定委員会名簿
- 2 推進委員会名簿



第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、企救丘校区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、企救丘校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 企救丘校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

令和5年度～令和9年度までの5ヵ年とします。計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

企救丘校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、企救丘校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置しました。平成24年7月25日に立ち上げた同委員会と勉強会、研修会において、協議の上、企救丘校区小地域福祉活動第一次計画を策定し、平成30年度からは第二次計画、令和5年度からは第三次計画に移行する事となりました。

第2章 企救丘校区の現状と課題

1 地域社会の動向

企救丘校区データ

令和3年9月現在

人口	12,477人	小学校	企救丘小学校
世帯数	5,827世帯	中学校	志徳中学校・守恒中学校
高齢化率	30.8%	公民館 市民センター	企救丘市民センター
一人暮らし 高齢者数	890人	地域包括支援 センター	小倉南4
その他社会資源等	徳寿園、病院、公園等		

企救丘校区は、小倉南区モノレール徳力公団駅から終点企救丘駅の東側に位置し、マンモス志徳団地や大型マンション、住宅団地で占めています。校区内には学校や市民センター、医療機関、スーパー等の社会資源は充実していて、交通の便についてもバスやモノレールが通り、とても便利な地域です。しかし、高齢化も進んできており、世帯構成についても高齢者の単身世帯が占める割合が高い地域です。

2 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

企救丘校区では平成10年よりふれあいネットワーク活動が展開されていますが、少子高齢化の加速化が懸念されております。校区内で将来に向けた地域のビジョンを描き、福祉活動を充実することが求められています。

福祉活動を進めていく上での課題としては、「知らない」・・・近所のことを知らない、地域でやっていることを知らない、地域で出来る事を知らない、町内会に入らない、町内会が無い、また、知ろうとしない、知らせない。ということから、見守りが必要な方の情報が十分に得られていないという現状があります。

また、近年では高齢者を対象とした消費者被害や、認知症高齢者の徘徊や孤独死等が増加しており、日頃からの見守り活動に加えて、地域行事を利用した住民への啓発活動の重要性が高まっています。さらに、平成28年には熊本地震、平成29年には九州北部豪雨と災害が相次いでいます。北九州市は従来、比較的安全な地域と考えられていましたが、平成29年7月の九州北部豪雨では企救丘校区でも避難者が出るなど、災害時の対応も迫られています。

第3章 計画体系

1 基本理念「おたがいさまのまちづくり」

企救丘校区では、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願っています。そのために「声かけて 子どもが育つ きくがおか」という言葉をスローガンに、「おたがいさまのまちづくり」を基本理念として、小地域福祉活動第三次計画を推進していきます。

2 基本目標

(1) 福祉を学び合い、助け合いの意識を高めよう

福祉活動の広報啓発により、地域に福祉の風土を広げます。

(2) 住民同士のふれあい・交流を深めよう

地域行事を通して、住民間のつながりを強めてきます。

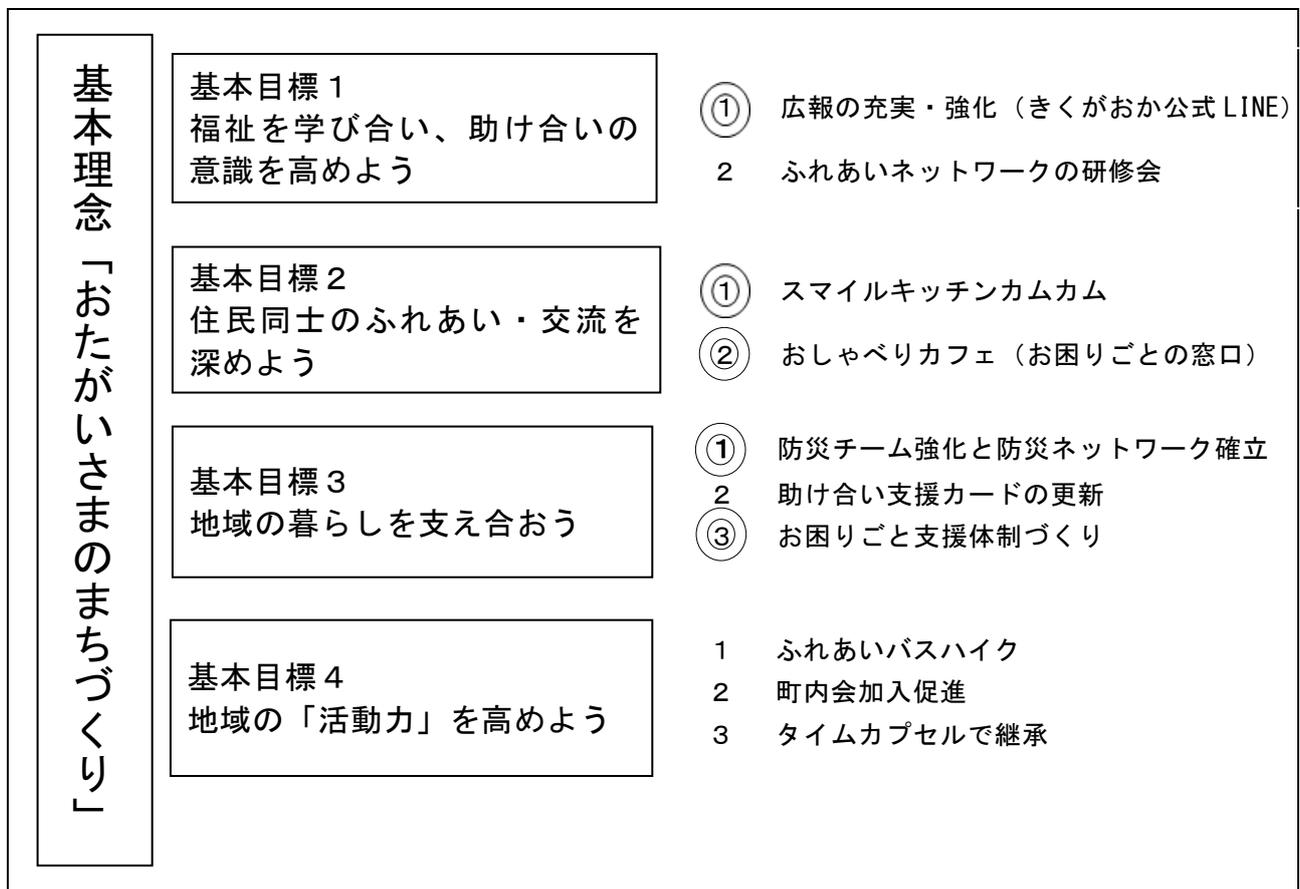
(3) 地域の暮らしを支え合おう

地域住民みんなが安心して暮らせるよう公私の社会福祉関係者と支援の輪をつくり、住民の主体的参加による福祉活動をすすめます。

(4) 地域の「活動力」を高めよう

活動者の募集や育成・関係者の連携により、地域の「活動力」を強化し、活動財源の安定的な確保に努めます。

3 実施項目（体系図）



4 重点実施項目

重点実施項目		安心な地域へ/防災チーム強化と防災ネットワーク確立					
1 課題背景及び現状							
<p>企救丘校区には幸いにも災害危険区域が少なく、防災活動を積極的に推し進める要望はありませんでした。しかしながら、近年発生している「まさか」という自然災害に対して、校区の防災意識が高まっています。また、携帯電話で避難メールが配信されたときに、自分たちがどのような状況にあり、どのように対応すれば良いのかという個別の指示や情報が欲しいという要望があります。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>企救丘校区「防災対策室」を設立します。</p> <p>毎年、様々な災害を想定して防災訓練を行う事で地域住民の防災意識の向上を目指します。また高齢者や障害者支援できる仕組みづくりを行います。</p> <p>1年目 防災訓練（台風） 高齢者・障害者の困りごと調査 2年目 防災訓練（風水害） 困りごと支援体制づくり 3年目 防災訓練（地震） 困りごと支援スタート 4年目 防災訓練（大雪・停電・断水・火事など） 5年目 校区内企業・施設との防災協定 他校区との防災協定</p>							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R5	R6	R7	R8	R9	5年後の達成目標
防災対策室の設置 防災訓練 毎年	まち協 民児協 老人会 自治会 行政 小・中学校 市民センター	<ul style="list-style-type: none"> ・防災対策室の元、各機関が連携し、情報共有を図る ・様々な災害に対応できるように毎年防災訓練を行う 					様々な災害に迅速に対応できる校区を目指します。
高齢者・障害者の困りごとを支援	まち協 民児協 老人会 自治会 行政 小・中学校 市民センター	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・障害者の困りごとを継続的に調査します。 ・支援体制を構築し、支援可能なところから支援をスタートさせます。 					誰もが笑顔で生き生きと暮らせる街を目指します。

4 重点実施項目

重点実施項目		広報の充実・強化/ふれあい・交流を深める					
1 課題背景及び現状							
<p>企救丘校区において、様々な活動を行っていますが、やっていることを「知らない」、人を「知らない」、住んでいる町内会を「知らない」という現実です。お世話をされている方や役員は「知っているだろう」「知っているはず」と温度差があります。これでは、自己満足になってしまい、地域の発展がありません。また、町内会に加入したくても町内会の無い地域が存在しています。町内会長、福祉協力員、民生委員のお顔もお名前も役割も「知らない」ということも事実です。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>〈5年後の目標〉 「知らない」→「みんな知ってる」へ</p> <p>タイムリーに、地域の情報収集、伝達がスムーズに出来ることが、安心、安全へと繋がるし、地域のメリットになる方針です。</p> <p>2023年からスタートした、スマイルキッチンカムカムやおしゃべりカフェは、人と人を繋げるツールで、更に内容を充実させます。このツールが、お困りごとの窓口になるし、人財スキルの発見となり、繋いでいくことで課題解決になると確信します。</p> <p>町内会の無い世帯をフォローするために「きくがおか町内会」を設立し、仲間づくりの出来る環境整備に取り組んでいます。目標のコミュニティを確立し、入会したい「町内会コミュニティ」を目指します。</p>							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R5	R6	R7	R8	R9	5年後の達成目標
広報の充実 きくがおか公式LINE (2023年よりスタート)	まち協 民児協 老人会 自治会 行政 小・中学校 市民センター						「知らない」 ↓ 「みんな知ってる」へ
		・情報収集 ・タイムリーでスムーズな情報伝達					
スマイルキッチンカムカム おしゃべりカフェ (お困りごと窓口)	まち協 民児協 老人会 自治会 行政 小・中学校 市民センター						
		・2023年～ コミュニティ食堂 スタート (スマイルキッチンカムカム) ・定期的なおしゃべりカフェがお困りごとの窓口となり、人や物を繋いで課題の解決へ					

第4章 計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

- ① 校(地)区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- ② 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- ③ 計画書の配布等を通じた校(地)区住民への周知等、計画を推進していくために、計画の広報活動を行います。

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、企救丘校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施等について、委員会では協議を進めていきます。

(2) 計画の進行管理

企救丘校区小地域福祉活動計画推進委員会を年3回程度開催します(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催)。委員会では、PLAN(計画立案)DO(実行)CHECK(点検・評価)ACT(改善)というPDCAのサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合には、その原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第4次計画の策定

第3次計画の推進状況を踏まえて、第4次計画の策定期間(計画第4～5カ年度)には新しく第4次計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。

参考資料

1 企救丘校区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

役職	氏名	備考
会長	岡本 広治	自治連合会・社会福祉協議会
副会長	佐藤 稔	夏まつり実行委員長、ふれあいネットワーク事務局、次世代プロジェクトリーダー
会計	中上 恵美子	ふれあいネットワーク会計、主任児童委員
理事	中島 文生	社会福祉協議会、ふれあいネットワーク
事務局長	福谷 健	実行委員(ふれあいネットワーク担当)
事務局	宮浦 明朗	民生委員、実行委員(ふれあいネットワーク担当)
事務局	高崎 松子	民生委員、実行委員(ふれあいネットワーク担当)
事務局	井上 美智子	民生委員、実行委員(ふれあいネットワーク担当)
事務局	井上 千鶴	ふれあいネットワーク実行委員長

2 企救丘校区小地域福祉活動計画推進委員会委員名簿

役 職	氏 名	備 考
会 長	岡本 広治	自治連合会・社会福祉協議会、ふれあいネットワーク実行委員会
副会長	片山 建夫	敬老会実行委員長
副会長	佐藤 稔	夏まつり実行委員長、ふれあいネットワーク事務局、次世代プロジェクトリーダー
副会長	深江 真理子	広報戦略
副会長	林田 直美	生き生きプロジェクト基金
監 事	植木 實	元企救丘第二町内会長
監 事	長尾 朋子	まかない隊
事務局長	福谷 健	防災士 会計
会 計	中上 恵美子	ふれあいネットワーク会計、主任児童委員
理 事	大塚 伸一	下徳力第一町内会長
理 事	酒井 俊哉	下徳力寿町町内会長
理 事	永井 隆司	企救丘第一町内会長
理 事	佐野 豪	企救丘第二町内会長
理 事	八崎 和彦	企救丘第三町内会長
理 事	田中 京子	企救丘第五町内会長
理 事	福田 宏行	春日台町内会長、生活安全パトロール実行委員長
理 事	前田 健太郎	山手団地町内会長
理 事	土井 智子	志徳団地町内会長
理 事	内田 守	徳力中山町内会長
理 事	田村 政幸	石田南一丁目町内会長
理 事	中舗 義彦	石田南ミサワ町内会長
理 事	平井 友和	タカヤ町内会長
理 事	堤 雅之	ゆりのき町内会長
理 事	安藤 春男	藤和ハイタウン町内会長
理 事	吉本 篤	エミネンス町内会長
理 事	永島 靖史	ヴァンテアン徳力町内会長
理 事	詫間 悟	山手町内会長、スポーツ推進員
理 事	美雪 美穂	コモド町内会長
理 事	服部 兼昌	年長者部長
理 事	矢上 了一	体育部長

役 職	氏 名	備 考
理 事	道家 昌美	婦人部長
理 事	木村 聡	青少年部長
理 事	園 貴義	企救丘校区子ども会育成協議会会長、健康づくり事業担当
理 事	日高 康博	少年補導員
理 事	井上 千鶴	民生委員 ふれあいネットワーク実行委員長
理 事	白石 新治	保護司会
理 事	東 靖彦	企救丘小学PTA会長
理 事	亀田 秀一	志徳中学校PTA会長
理 事	中島 文生	社会福祉協議会 ふれあいネットワーク事務局
事務局次長	光安 隆史	学童保育クラブ担当
事務局次長	御木 毅	広報担当、
事務局	山口 勝正	防災士
事務局	酒見 英志	環境衛生協会事業
事務局	戸成 純	夏まつり担当
事務局	庄司 直美	まかない隊
事務局	浅富 佳代子	まかない隊
事務局	竹林 美智子	環境衛生協会
事務局	福田 絵美子	広報 敬老会 体育祭 どんど焼き事務
事務局	小原 かおり	広報 ホームページ 公式LINE 学童保育クラブ会計
事務局	森本 雅子	50周年 生き生きプロジェクト基金
顧 問	川中 浩之	志徳中学校 校長
顧 問	花田 桂子	企救丘小学校 校長
顧 問	原田 直久	志徳幼稚園 園長
顧 問	宮崎 浩	徳寿園 園長
顧 問	井上 秀作	北九州市議会議員
事務局顧問	安倍 ゆかり	企救丘市民センター館長

★社会福祉協議会のイメージキャラクター★



『プチボザウルス』 (Petit vo saurus)

Petit (プチ : ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス ≡ 恐竜)

企救丘校区社会福祉協議会

〒802-0974 北九州市小倉南区徳力四丁目17-5 企救丘市民センター内
TEL 093-963-3101 FAX 093-963-3160

小倉南区社会福祉協議会

〒802-8510 北九州市小倉南区若園五丁目1番2号
TEL 093-951-5388 FAX 093-951-5391

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号ウエルとばた内
(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351